

ささりんどう



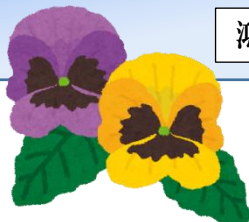
学校教育目標

感動し 共に喜びあえる児童の育成

児童数
男子 158名
女子 153名
合計 311名

校章の笹竜胆（ささりんどう）は、箕田源氏の旗印です

鴻巣市立箕田小学校 学校だより 令和4年3月1日



「ナイスー」で1年間を締めくくろう

～ ロコ・ソラーレの活躍から ～

校長 齋地 満

やわらかな陽ざしに春の訪れを感じるようになり、令和3年度も残すところ1か月となりました。授業参観や懇談会につきまして急な対応となりましたが、ご理解とご協力をいただきありがとうございました。今週に入って、子ども達の健康状況は落ち着いてきておりますが、予断を許さない状況に変わりはありません。発熱のない場合でも、かぜ症状等お子さんの体調がすぐれない時は、ご家庭で様子を見ていただけますよう重ねてお願い申し上げます。

さて、北京オリンピックでは、日本代表選手の活躍をたくさん見る事ができました。メダルを獲得して喜ぶ姿やハプニングにより思うように力が出せずに涙する姿など様々なシーンがありました。4年に一度という大舞台に照準を合わせ、力の限りパフォーマンスに臨む前向きな姿勢が、結果を問わず、心を打つのだと思います。その中でも、銀メダルを獲得したカーリング女子日本代表のロコ・ソラーレの活躍が心に残りました。中継で応援された方も多いのではないのでしょうか。

ロコ・ソラーレの強さは一人一人の技術の高さに加え、優しく前向きなコミュニケーションがあります。印象的だった場面は、1次リーグの米国戦でした。日本代表が4点リードで迎えた第7エンド、藤澤選手のショットはねらいを外して、同点に追いつかれます。私も応援していましたが、「これで流れが変わってしまう。もしかしたら負けてしまうかもしれない。」と感じたその時でした、「いや大丈夫、大丈夫。同点になっただけだから。」という吉田知那美選手の力強い声に、目の前がぱっと明るくなりました。落ち込みそうになった藤澤選手も勇気づけられ、気持ち的に強くなったようで、その後の勝利へと繋がっていきます。《参考記事：Sports navi》

前回の平昌オリンピックの際には、試合中の会話でよく使われた「そだねー」が新語・流行語大賞に選ばれました。当時の授賞理由は、いくつかあると思いますが、相手の意見を受け入れる肯定的な言葉は、コミュニケーションを豊かにし、作戦やパフォーマンスをよりよいものにしていただけたのだと思います。今回は、「ナイスー」が、クローズアップされています。確かに試合を思い起こすと、その声とハイタッチする姿が浮かんできます。思ったようにいかなかったショットでも、この言葉が飛び交っていました。チームで話し合っただけで決断した作戦に全力で取り組んだのだから、「ナイスー」なのでしょう。そして、次をどうしていくかという切り替えにもなったのではないのでしょうか。

私が初任の時、子どもから「ほめるのが、下手だね。」と言われたことがありました。確かに、意識し過ぎて、とってつけたような言葉だったのでしょう。先輩教師の助言もあり、「認めてあげる」ということに視点を変えてみました。共感して「いいね」「すごい」と言えるようになると、うれしそうな子ども達の笑顔を多く見る事ができるようになりました。また、結果だけではなく、努力も認められるようになり、励ましの言葉も以前より増えたことを覚えています。短い言葉ですが、肯定的に受け止めることで、子ども達は自信を持ち、より前向きに成長するのです。教師としても親としても貴重な経験となりました。日本の子ども達は、自己肯定感が諸外国に比べて低いとも言われています。学校と家庭双方の肯定的な言葉掛けで、心身のよりよい成長を促していきましょう。

最後になりましたが、保護者及び地域の皆様には、コロナ禍におきましても1年間本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。教職員一同、心よりお礼申し上げます。しっかりと学習のまとめを行い、新しい学年に向かって充実した1か月としてまいります。

令和3年度 箕田小学校 学校評価アンケートの結果

令和3年12月に実施した学校評価アンケートの結果についてご報告させていただきます。

1 児童アンケート結果（1～6年生） 回答児童数307名（回答率98.7%）

	質問内容	A+B(%)	C(%)	D(%)
1	箕田小は、学校行事や学習が楽しい。	97.7	1.6	0.7
2	箕田小の先生は、学習や運動・生活のがんばりを認めてくれる。	99.0	1.0	0.0
3	箕田小の先生は、分かりやすく教えてくれる。	99.3	0.7	0.0
4	箕田小の先生は、生活の仕方、集団でのルールや約束を教えてくれる。	99.3	0.0	0.7
5	箕田小の先生は、困ったことがあったら、話を聞いたり、解決したりしてくれる。	98.0	1.6	0.3
6	箕田小の児童は、友だちにやさしくできる。	97.4	2.0	0.7
7	箕田小の児童は、人の話をよく聞くことができる。	96.7	3.3	0.0
8	箕田小の児童は、いっしょうけんめいに、そうじができる。	95.1	4.6	0.3
9	箕田小の児童は、あきらめないで、最後までやりとおすことができる。	97.4	2.0	0.7
10	箕田小の児童は、家で、宿題や自主学習ができる。	96.7	2.6	0.7
11	私は、勉強や運動、生活を一生懸命がんばっています。	96.7	2.9	0.3
12	私は、家庭での学習〔宿題や自主学習〕に取り組んでいます。	93.8	5.5	0.7
13	私は、早寝・早起きを守り、朝ごはんを食べて登校しています。	94.1	5.5	0.3
14	私は、「生活目標」を守って生活しています。	95.4	3.6	1.0
15	私は、「学習のやくそく」を守り、学習に必要なものをもって来たり、忘れ物をしたりしないようにしています。	91.5	7.5	1.0

2 保護者アンケート結果（1～6年生） 回答世帯数223（回答率91.0%）

	質問内容	A+B(%)	C(%)	D(%)
1	学校のこと（学校行事や学習内容等）について、よく知ることができる。	98.7	1.3	0.0
2	子どもの学習状況についてよく知ることができる。	95.5	4.0	0.4
3	学校は（教師）、分かりやすい授業を行っている。	98.7	0.9	0.4
4	学校は、豊かな心や生活習慣・社会規範を守る態度を育てようとしている。	99.6	0.4	0.0
5	学校（教師）は、いじめや問題行動を見逃さず、解決に向けて取り組んでいる。	97.3	2.7	0.0
6	学校（教師）は、子どもの体力向上に取り組んでいる。	97.8	2.2	0.0
7	学校は、感染症や非常災害・事故等から児童を守る安全管理に努めている。	99.6	0.4	0.0
8	学校は、校舎内外がきれいになっている。	98.2	1.8	0.0
9	私(保護者)は、箕田小学校の教育活動に協力しています。	91.5	8.5	0.0
10	私(保護者)は、子どもの家庭学習〔宿題・自主学習等〕に関わっています。	93.3	6.7	0.0
11	私(保護者)は、子どもの早寝・早起き・朝ごはん等の健康管理や基本的な生活習慣の定着に向け、取り組んでいます。	97.8	2.2	0.0

3 学校評議員による学校評価結果

	質問内容	A(人)	B(人)	C(人)	D(人)
1	学校のこと（学校行事や学習内容等）について、よく知ることができる。	6	0	0	0
2	子どもの学習状況についてよく知ることができる。	5	1	0	0
3	学校は（教師）、分かりやすい授業を行っている。	5	1	0	0
4	学校は、豊かな心や生活習慣・社会規範を守る態度を育てようとしている。	6	0	0	0
5	学校（教師）は、いじめや問題行動を見逃さず、解決に向けて取り組んでいる。	6	0	0	0
6	学校（教師）は、子どもの体力向上に取り組んでいる。	5	1	0	0
7	学校は、感染症や非常災害・事故等から児童を守る安全管理に努めている。	6	0	0	0
8	学校は、校舎内外がきれいになっている。	6	0	0	0

※ A: あてはまる B: どちらかというにあてはまる C: どちらかというにあてはまらない D: あてはまらない

学校評議員会[学校関係者評価]からの提言(抜粋)

- ・タブレットを使った授業が開始されるまでのご準備も大変だったと思う。授業の様子を拝見させていただき、進化を感じた。
- ・保護者による登校指導も20年以上続いている。20年前と状況も変わっていると思うので、指導場所が遠かったり、時間がなかったりする場合は、近くの通学路に立つだけでもよいのではと思う。
- ・理科室が昨年よりきれいになった。角イスのささくれもなくなりよかった。
- ・学校課題研究は、児童の学ぶ意欲や確かな学力を育てている様子、先生方の熱心な取組による大きな成果だと思う。
- ・落ち着いて学校生活に取り組む子ども達の様子に、いつもうれしく感心させられる。「箕田っ子の姿」として、今後も育てていってほしい。

保護者の皆様からの意見(一部)

- 先生が子ども達のためにどうしたらいいかを考えてくれているのがよく伝わる。運動会や日々の子どもに対する指導をみても心豊かに育てていただいているので気持ちも尊重していただき感謝をしている。
- 子ども達のために考え、感染対策をして行事や日常生活を送れるようにしていただきありがたい。
- 相談するとすぐに対応くださり、いつも、感謝している。子ども達も毎日楽しく通えている。
- 先日の遠足の際にメールでHPに写真をアップしてくださっているのを知り、HPを見ると遠足以外にも日々の学校での様子がたくさんアップされていて、忙しい中掲載していただき有難く思う。また、毎日わかりやすく楽しく元気に授業を行っていただき感謝している。
- 子どものいじめ問題で不安な親が多いと思うが、学校できちんとアンケート(思いやりアンケート)があるので安心できている。また、学校からメールが届く事も安心できる。(行事や下校、不審者情報など)
- △相談窓口などのフロー(流れ)を明らかにしてほしい。いろいろなケースが想定されるので複数パターンあると望ましい。
- △算数等は、はじめの授業で理解ができていないようである。もう少しその子にわかるように説明してほしい。
- △児童用端末の使用が学習に役立てられている部分もたくさんあると思うが、考える前に調べたり、何度も見ることができたりするので覚えようとしめない等の面も見受けられ、端末の使用の意味を理解できない子どもにとっては、良いことばかりではないことを心配している。
- △保護者の手伝いをお願いする手紙をもう少し早めに出してもらえると、働いている母親も都合がつけやすいと思う。(ミシン学習等)
- △今の箕田っ子は、あいさつができない子が多いと思う。
- △防犯の観点から、名札は学校で管理していて、登校したら付けて、下校の前に回収する形がよい。

4 各アンケート結果から捉えた課題とその改善策

(1) 児童のあいさつ・ことば遣いの改善や向上のために

- ・その場を捉えた粘り強い指導を継続していく。
- ・教師が模範を示すとともに、生活目標の振り返りを教師自身も行っていく。

(2) 基本的な生活習慣・「学習のやくそく」を定着させるために

- ・「学習のやくそく」を見直すとともに、使用するノートや筆箱の中身等、わかりやすい形で保護者に示す。

(3) 児童がお互いの良さを認め合いながら学校生活を送れるようにするために

- ・グループエンカウンター・ソーシャルスキルトレーニングを取り入れた活動を実施する。
- ・児童の良い面を様々な方面に発信する(保護者、児童、教師)

(4) わかりやすい授業の実施と学習状況の周知の工夫のために

- ・ノート指導を充実させるとともに、単元の最後には確認を行う。
- ・テストの解説・直しの時間を確保する。
- ・家庭学習強化週間における各自の目標や取組内容を保護者と共有する。
- ・学校課題研究で行ってきたパワーアップタイムを学年の実態に応じて令和4年度も継続していく。
- ・指導方法の工夫改善(研修の充実) ・教材研究、授業準備をする時間の確保
- ・授業参観や公開行事の改善(公開内容や公開方法を工夫していく)

(5) 学校図書館の利用を促し、児童の読書量を増やしていくために

- ・毎月21日の親子読書の取組を充実させていく。
- ・朝の支度が終わったら、朝の会が始まるまでは読書の時間とする。

(6) その他

- ・防犯上の理由から、令和4年度より、名札は学校に置いておき、登校後教室で着用し下校前に外す形とする。
→児童が自分で名札を着脱できるように、家庭でも練習をしていただきますようお願いいたします。



◎保護者の皆様からは、多数ご意見を寄せていただきました。紙面の都合で一部掲載とさせていただきますが、いただいたご意見を真摯に受け止め、今後の教育活動に生かしてまいります。アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。